
それでも好き【前編】

奏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

それでも好き【前編】

【Nコード】

N7916R

【作者名】

奏

【あらすじ】

えーつと・・・

青春サスペンシ的なWWW

文章めちゃくちゃですけど

気にしないで下さい(^o^)*

私の名前は相田かなえ。中学1年生。

普通に平凡で

いつも同じ生活を繰り返していた。

そんな私の好きな人は隣の席の
上原貴君。

実は貴君のメアドをGETできたのだ。

「かなえメアド教えてよ」クラスメイトの梨乃ちゃんが私に言うてきた。

「うん。いいよ」私は紙に自分のメアドを書いていた

すると、

「え・・・相田さんってケータイ持ってるの？」貴君に話しかけられた。

「う・・・うん」

「じゃあ俺ともメールしない？」

「う・・・うんッ!!」まさかそんなことを貴君から言われるなんて・・・夢にも思わなかった。

私は貴君からメアドをうけとった。

そして梨乃ちゃんと遊んでから
帰ってくるよ

姉の美希（中3）が
玄関に勢い良く走ってきた。

「お・おねえちゃん・・・どーしたの??」

「大変よ。あ・あんたの担任が殺された」

コロサレタ？

「え・何言ってるの??」今日は朝元気だったよ?

「さっき、連絡網が回ってきて・・すごい騒ぎよ!! あんたどー言
ってたのよケータイも持ってないし」

「ごめん。梨乃ちゃんと遊んでた」

「そう・・・」

「でもどついうコト? 先生が殺されたなんて・誰にどつやって?
」?

「分からないわ、でも・噂では・・・・あんたのクラスの誰
かかもしれないって」

クラスノダレカ?

「え・・・嘘だ・・みんないい人だもんツ」涙がこぼれおちた。

そんなはずない。そんなことあるわけない。

「一つだけ聞くわ。嘘ついたらダメよ？・・・あんたじゃないわよね??？」

「私じゃないよ!!!違っ・・・先生殺すわけないじゃん・・・お姉ちゃん信じて!!!」

「ええ。まああんたがそんなコトできるとは思わないし」

「でもなんでクラスの誰かなの？外の不審者かもしれないじゃん」

「相談室よ・・・先生相談室で殺されてたの。先生が生きてる前に他の先生に

『今日はクラスの奴が放課後、相談に来るので鍵借りますね』って言ってたらしいの」

「え・・・そんな・・・」

「で、誰か相談に行くみたいなの言ってた人知ってる？」

「知らないよ・・・」

「まあ、明日緊急集会があるだろうし、あんた達は事情聴取もあるでしょうね。

とにかく、今日はもう寝ときなさい」

私は上の空で階段を上った。

意味が分からない。どういうコトなの？

先生今日朝笑ってたじゃん・・・

私は自分のベッドにもぐった。
ピロリロリン

机の上に置きっぱなしだったケータイが鳴った。

「・・・」

開いてみると4通もメールが来ていた。

内容は「担任の先生が殺された」というものばかり。
そしてクラスのみんなからばかりだった。

私は適当に返信をした。

「あ・・・そういえば貴君からメアド教えてもらったんだっただ・・・」

こんなときでも・・・

いやこんなときだからこそメール送れるんじゃないかな？

【(To) 貴君 (件名) かなえです

(本文) 先生が殺されたって知ってる?? 初メールなのに
こんな文面で・・・ でも悲しいよね・・・ だって犯人クラスメイ
トの誰かかもしれないんだって】

私は送信ボタンを押した。

本当にこの文面で初メールだなんて・・・

でも今はこの話題を避けられるような状態じゃない。

すぐに返信がこなかった。

私は寝たかったけど返信が来るまで寝れない。

送ってから30分くらいたつたとき
ピロリロリン

私はすぐさまケータイを見た。

【(From)貴君 (sb)RE:

(本文)その犯人が俺だったらどーする?】

オレダッタラ・・・

ドースル?

え?????????????????????????????????

どーいうこと?まさか・・・

そんなまさか!!!!!!!!!!!!!!

違う。何言ってるの・・・なんで?違うよね

貴君・・・貴君・・・そんなはずないよね?

貴君貴君貴君貴君貴君貴君・・・・・・・・・・・・・・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7916r/>

それでも好き【前編】

2011年10月8日21時31分発行